

資料 6

東原構成員提出資料

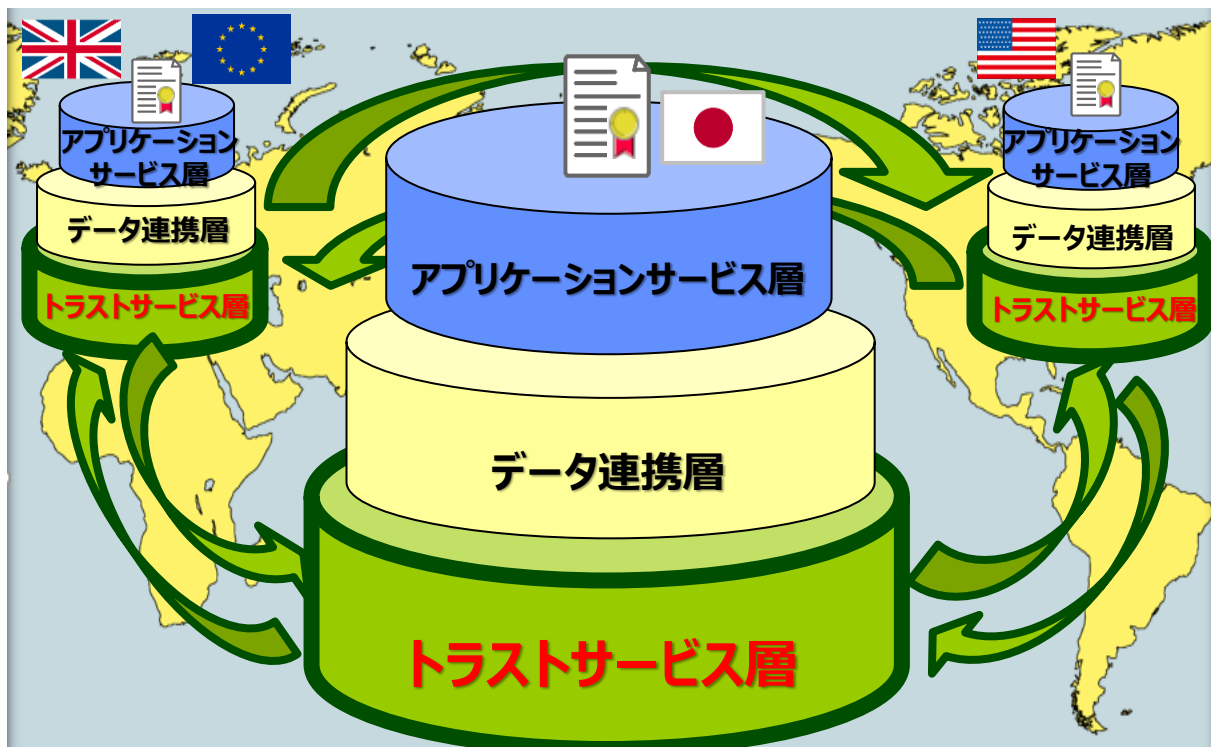
デジタルエコシステムの形成に向けて

日立製作所取締役会長代表執行役／日本経済団体連合会審議員会副議長
東原 敏昭
2025年12月24日

- データ駆動型のAI社会において、課題解決・価値創造を実現するためには、デジタルの最大限の活用と、その基盤となるデータ連携が不可欠。
- 産業分野のデータ連携に関しては、企業・業界・国境の垣根を越えてデータを安全にやり取りする「産業データスペース」の構築が重要。今後の具体化に向けて一層の官民連携が必要。

■ 産業データスペースの「3層構造」のイメージ

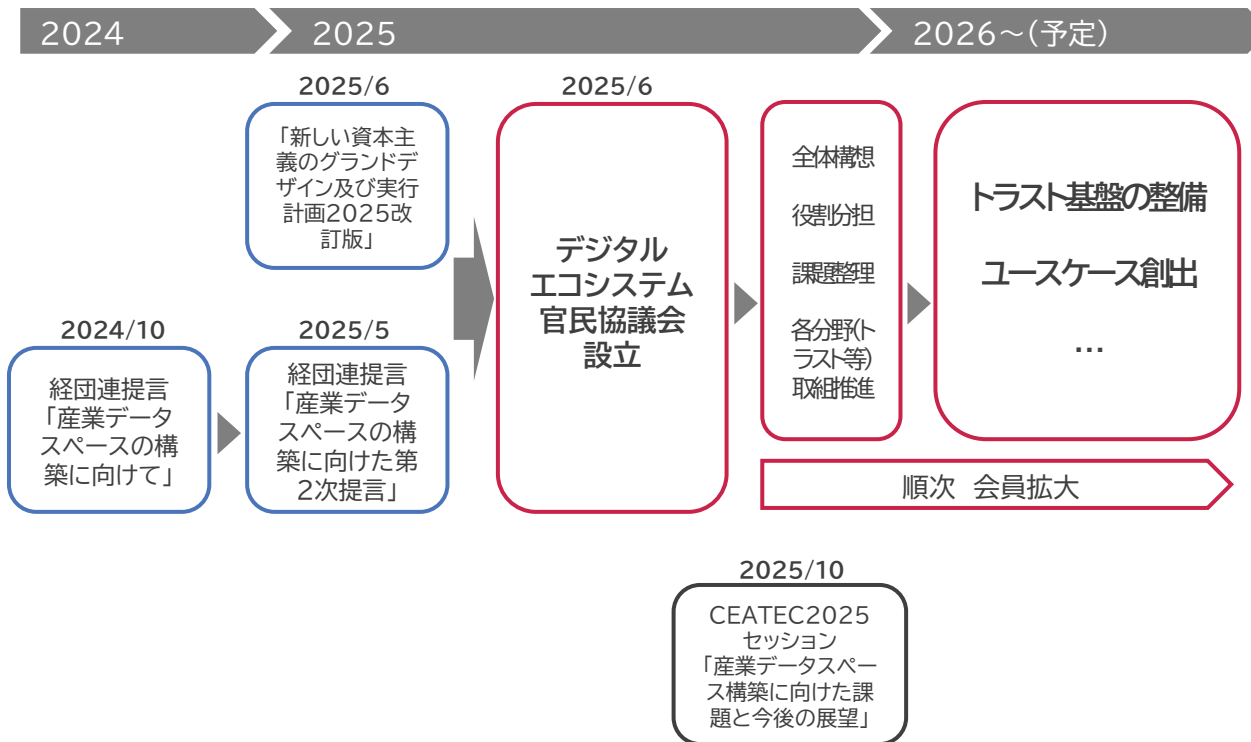
- ・ 産業データスペースは、データ連携時の機能・サービスの観点から、**3層構造**(アプリケーションサービス層、データ連携層、トラストサービス層)による整理が可。
- ・ 国際的な相互運用性の確保が必要なトラストサービスについて、政府間協議を加速する必要。



出所: 経団連「産業データスペースの構築に向けた第2次提言」

■ デジタルエコシステム官民協議会

- ・ 2025年6月20日、経団連・デジタル庁により「デジタルエコシステム官民協議会」を設立。官民での責任検討主体の明確化のもと、各分野における取り組みを推進。
- ・ 今後、トラスト基盤の整備を含め、一層の官民連携による戦略的な推進が必要。



出所: 経団連事務局作成